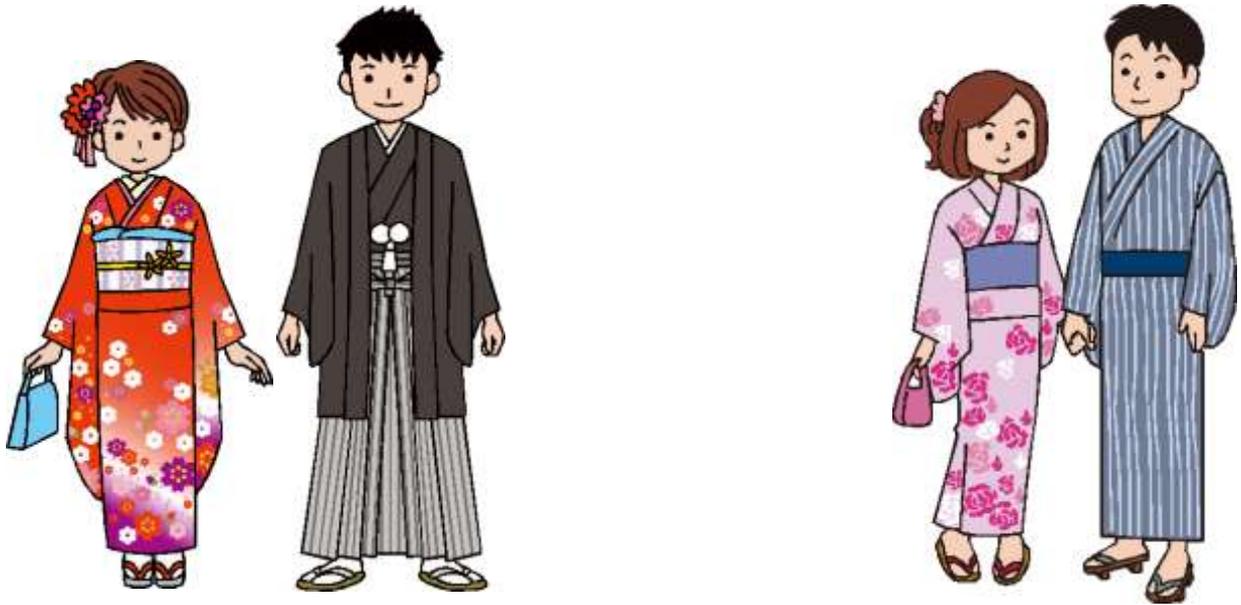


## 「きもの」

いま にほんじん ようふく き むかし わふく き きもの  
今は、日本人も 洋服を着ていますが、昔は 和服を 着ていました。「着物」は  
きもの いみ わふく ようふく きもの いま  
着る物という意味で、和服も洋服も「着物」です。しかし、今は、「きもの」といったら  
わふく  
和服のことです。

「きもの」には、いろいろな種類があります。「きもの(着物)」と「ゆかた(浴衣)」がよく  
し  
知られています。「ゆかた」は、夏用の和服で、「きもの」よりカジュアルです。夏祭り  
はなびたいかい い き おんせんりょかん ようい ねま  
や花火大会などに行くときに着ます。温泉旅館で用意されている寝巻きも、「ゆか  
たよ かんたん き りょかん と き  
た」と呼ばれます。簡単に着ることができますから、旅館に泊ったら、ぜひ着てみ  
てください。



ゆかたを<sup>き</sup>着てみましょう

☆ はじめに、<sup>じゅんび</sup>準備をします。

ひつよう  
必要なもの： ゆかた、<sup>おび</sup>帯、<sup>こし</sup>腰ひも <sup>にほん</sup>2本



### ひもの<sup>むす</sup>結び方

1. ひもの<sup>ちゅうおう</sup>中央を<sup>まえ</sup>前にあてます。

2. <sup>うし</sup>後ろへ<sup>まわ</sup>回して<sup>こうさ</sup>交差させます。

3. <sup>さゆう</sup>左右に<sup>ひ</sup>引き、<sup>まえ</sup>前にもどします。

4. <sup>むす</sup>結んだところが<sup>ゆるま</sup>ゆるまないように<sup>むす</sup>結びます。

5. <sup>した</sup>下になっている<sup>ひも</sup>ひもで、<sup>わつく</sup>輪を作ります。

6. <sup>かたほう</sup>もう片方を<sup>うえ</sup>上から<sup>かぶ</sup>かぶせます。

7. <sup>さゆう</sup>左右に<sup>ひ</sup>ひいて、<sup>しつかり</sup>しっかり<sup>しめ</sup>しめます。



☆つぎに、ゆかたを<sup>き</sup>着ます。

ゆかたの<sup>きかた</sup>着方<sup>じょせい</sup>（女性）

1. ゆかたを はおります。



2. はじめに、すそを くるぶし<sup>なが</sup>くらいの長さに します。



3. つぎに、左側<sup>ひだりがわ</sup>を<sup>ま</sup>巻きつけながら、はば<sup>き</sup>を決めます。



4. 一度左側<sup>いちどひだりがわ</sup>を開いて、右側<sup>みぎがわ</sup>を<sup>ま</sup>巻きつけてから、

<sup>いちど</sup>もう一度、左側<sup>ひだりがわ</sup>を<sup>かさ</sup>重ねます。



5. 腰<sup>こし</sup>ひもを しめます。

<sup>まえ</sup>前から<sup>あ</sup>当てて、<sup>うし</sup>後ろで<sup>こうさ</sup>交差させてから、<sup>まえ</sup>前で<sup>むす</sup>結びます。



6. <sup>まえ うし</sup>前や<sup>の</sup>後ろのしわを伸ばして、<sup>ととの</sup>おはしよりを整えます。



7. <sup>うえすと</sup>ウエストあたりにひもをしめます。



\* <sup>くび うし</sup>首の後ろにえりをつけないようにします。



☆さいごに、<sup>おび</sup>帯を <sup>しめ</sup>めます。<sup>しやしん うし</sup>（※写真は後ろですが、<sup>まえ むす</sup>前で結びます）

### <sup>はん おび かた</sup> 半はば帯の <sup>しめ</sup>方

1. <sup>おび</sup>帯の <sup>なが</sup>長さを <sup>ごじゅっせんち</sup>50センチくらいとって、

<sup>ふた お まえ あ</sup>  
二つ折りにして <sup>あ</sup>前に当てます。



2. <sup>ひろ</sup>はばを <sup>うえすと</sup>広げて、<sup>かいま</sup>ウエストに <sup>2</sup>回 <sup>ま</sup>巻きます。



3. <sup>おび</sup>帯を <sup>まえちゆうおう</sup>前中央で <sup>お</sup>ななめに <sup>ま</sup>折ります。



4. <sup>ふた お おび</sup>二つ折りになっている <sup>うえ</sup>帯を、<sup>う</sup>上から <sup>かぶ</sup>かぶせるようにして、

<sup>した</sup>下から <sup>うえ</sup>上に <sup>ひ</sup>引き <sup>う</sup>上げ <sup>お</sup>しっかり <sup>むす</sup>結びます



5. <sup>つく</sup>リボンを作ります。

<sup>した</sup>下の <sup>おび</sup>帯の <sup>ひろ</sup>はばを <sup>かた</sup>広げ、<sup>なが</sup>肩はば <sup>くらい</sup>の <sup>なが</sup>長さに <sup>たた</sup>たたみます。



6. <sup>ちゆうおう</sup>中央に <sup>ひだ</sup>ひだ(W) <sup>つく</sup>を作り、

<sup>むす</sup>結 <sup>んだ</sup>んだ <sup>ところ</sup>ところに <sup>の</sup>の <sup>せ</sup>めます。



7. ふた お おび ちゅうおう  
 二つ折りにしてある帯で、リボンの中央を  
 かいま  
 1回巻きます。



8. のこ たたんで、ま おび あいだ い  
 残りをたたんで、巻いた帯の間に入れます。



9. かたち ととの  
 リボンの形を整えます。



10. おび みぎ うし まわ  
 帯を右から後ろへ回します。

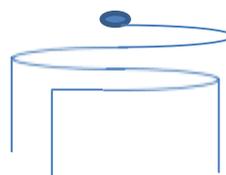
できあがり！

かた  
 たたみ方

すのこたたみ



びょうぶたたみ



バリエーション

① みじか した む  
 リボンが短かったら、下に向けずに  
 からだ  
 体につける。



② びょうぶたたみにして、リボンを4枚にする。まい



☆つぎに、ゆかたを<sup>き</sup>着ます。

ゆかたの着方 (男性)

1. ゆかたを はおります。



2. さゆう そでぐち ひ そで なが  
左右の袖口を引き、袖の長さをそろえます。



3. えりの<sup>なが</sup>長さを そろえます。



4. みぎがわ さき ひだり こし あ  
右側のえり先を左の腰のほうへ当てます。



5. ひだりがわ みぎ こし かさ  
左側を右の腰のほうへ重ねます。

6. こし  
腰ひもをしめます。

\* くび うし おび こし いち  
首の後ろにえりをつけて、帯は腰の位置でしめるのが

かっこよく着るポイントです。



☆さいごに、<sup>おび</sup>帯をしめます。

へこ<sup>おび</sup>帯<sup>かた</sup>のしめ方

1. <sup>おび</sup>帯を細くして、<sup>うえ</sup>ウエストに<sup>あ</sup>当てます。
2. <sup>うし</sup>後ろへ<sup>かい</sup>回して<sup>こうさ</sup>交差させます。
3. <sup>さゆう</sup>左右に<sup>ひ</sup>引き、<sup>まえ</sup>前にもどします。
4. <sup>むす</sup>結び目がゆるまないように、<sup>むす</sup>結びます。
5. <sup>した</sup>下になっている<sup>おび</sup>帯で、<sup>わ</sup>輪をつく<sup>つく</sup>作ります。
6. <sup>かたほう</sup>もう片方を<sup>うえ</sup>上からかぶせます。
7. <sup>むす</sup>結び目を<sup>みぎ</sup>右から<sup>うし</sup>後ろへ<sup>かい</sup>回します。
8. <sup>まえ</sup>前をきれいに<sup>ととの</sup>整えます。



できあがり！